

第13回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

第13回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議  
議事録

日時；平成25年3月19日（火） 15：00 ～ 16：30

場所：大宮ソニックシティ ソニックシティビル7F 705会議室

出席者	座長	葉山 嘉一	日本大学生物資源科学部 准教授
	委員	池谷 奉文	公益財団法人日本生態系協会 会長
		柳澤 紀夫	公益財団法人日本鳥類保護連盟 理事
		勅使河原 彰	狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議 前代表委員
		鈴木 伸	鳩山野鳥の会 代表
事業者		本間 淳史	東日本高速道路株式会社 さいたま工事事務所長
		辻 保人	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所長
事務局			大宮国道事務所

第13回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
開 会	<p>・定刻より若干早いのですが、皆様おそろいになっておりますので、これから第13回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、年度末の御多忙の中御出席いただきまして、どうもありがとうございます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます、大宮国道事務所の調査課長をしております森澤といたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日の会議は15時から17時までの約2時間を予定させていただきます。ということで、2時間、御議論をお願いしたいと思います。</p> <p>議事に入る前に、本日配付させていただいております資料の確認をさせていただきます。まず最初に、A4判で議事次第があります。会議資料①ということで、第12回会議資料の修正版、A3判のものが1つ。会議資料②として、25年度繁殖期初期の調査結果の資料が1つ。会議資料③ということで、調査地Lの保全対策が一式。参考資料としまして、オオタカの飛翔図と、A4判の参考資料②ということで、[REDACTED]への報告文という形で資料を配付させていただいております。資料の不足がありましたらお申しつけください。——よろしいでしょうか。(事務局 森澤)</p> <p><b>【会議資料】</b></p> <p>会議資料① 第12回会議資料② (P26) の修正          会議資料② 平成25年繁殖期初期の調査結果          会議資料③ 調査地Lの保全対策          参考資料① オオタカ飛翔図&lt;調査地F及びL&gt; (平成25年1月～3月)          参考資料② [REDACTED]への回答          (調査地G (上尾道路 [REDACTED]) の道路整備によるオオタカへの影響及び保護対策について)</p> <p>・それでは、議事次第に沿って進めさせていただきます。ここからは[REDACTED]に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。(事務局 森澤)</p>

項目	主な意見と回答
<p>(1) 第11回会議資料の修正について</p>	<p>・お忙しい中、皆さんお集まりいただきまして、ありがとうございます。 毎日天気は右往左往させられて、きのうは嵐で、きょうはこの暑さでサクラが全開になりそうですが、いつものようによろしく願いいたします。 [REDACTED]</p> <p>・それでは、議事次第に従いまして、(1)の「第12回会議資料②(P26)の修正」の御説明をよろしく願いします。 [REDACTED]</p> <p>・引き続き、調査課長の森澤といたします。よろしく願いします。 なお、本日の資料の説明につきましては、事前に委員の皆様へ御説明させていただきましたので、ポイントのみに絞って御説明させていただきますので、御了承願いたいと思います。 それでは、会議資料①、第12回会議資料の修正につきまして御説明させていただきます。(事務局 森澤)</p> <p>・「会議資料① 第12回会議資料②(P26)の修正」の説明</p> <p>・ありがとうございます。 委員の皆様方には事前に御説明があつて、そこで内容を確認していただけたと思いますけれども、今の御説明で改めて御意見等ございますでしょうか。きちんとした手順を踏んでそごのないように進めるということですが、よろしいですか。 そうしましたら、この修正で了解ということにいたします。 [REDACTED]</p>
<p>(2) 平成25年繁殖期初期の調査結果</p>	<p>・それでは、最新版の繁殖期初期の結果についての御報告をよろしく願いします。 [REDACTED]</p> <p>・それでは、会議資料②になります。「平成25年繁殖期初期の調査結果」を御報告させていただきます。(事務局 森澤)</p> <p>・「会議資料② 平成25年繁殖期初期の調査結果」の説明</p>

項目	主な意見と回答
<p>(2) 平成25年繁殖期初期の調査結果</p>	<p>・ありがとうございます。</p> <p>3月15日までの調査、最新情報を入れての御説明でございました。御質問その他ございましたら、どうぞお願いします。</p> <p>・9ページですけれども、調査地Lの樹林伐採についてということで、我々の保護対策会議からは、12月中までに伐採するというのを地権者にもお願いしたいということで、大宮国道事務所の方で頑張ってもらったわけですけれども、結果としては1月に入ってしまったと。これは地権者との関係もあるので、大宮国道さんを責めるつもりは全くありませんけれども、この表を見ていくと、基本的に1月に営巣中心域で樹林伐採が行われたことがオオタカの営巣に何らかの影響があったということは免れないと思います。それから、営巣中心域以外の高利用域では既に工事が始まっていますので、そういう営巣中心域での伐採行為、あわせて高利用域での工事がこのL地区でのオオタカの営巣に何らかの影響があったということは確認しておく必要があるのではないかと思います。ただ、これから先それをどうするかということではなくて、事実は事実として確認した上で今後の対策に活かしていくという形で、この問題をとらえた方がいいのではないかと思います。</p> <p>・から、委員会として事実をきちんと押さえておく必要があるというお話ですけれども、いかがでしょうか。</p> <p>関連するかもしれませんので、写真で今気がついたのでお聞きしたいのですが、24年7月撮影時点のと25年2月撮影時点のを見ますと、巣L1（落巣）としてありますけれども、その右側の樹林の外側、際の部分に新しい建物のような構造物が写っていますが、これは工事に絡んで何かプレハブのようなものが建っているのでしょうか。それとも地元の地権者さんが何か設置したということになりますか。</p> <p>・見る角度とか縮尺による違いだと思います。上の7月の写真を見ていただくと…。ここにそれらしきものがあるのですが、これをもう少し上の角度から撮るとこういう形で姿があらわれてきているの</p>

項目	主な意見と回答
<p>(2) 平成25年繁殖期初期の調査結果</p>	<p>が下の絵になると思いますので、新たに発生したものではないと考えています。(事務局 早野)</p> <p>・わかりました。ありがとうございます。余計なことを言いましたが、今の■■■■の御発言の内容はいかがでしょう。事実は事実として、影響があるなしの議論をしてしまうと難しくはなりませんけれども、ないわけではないという認識を。■■■■</p> <p>・参考資料の方で、1月下旬の鳥の様子から言うと、あったかもしれないぐらいのところではないでしょうか。2月になってからはみんなFの方に行っているの、そちらの方で決心したかもしれません。1月中の飛行軌跡を見るとLの方もちらっとあるので、頭の中には意識があったかもしれませんが。■■■■</p> <p>・そうしましたら、■■■■がおっしゃられるように、飛行軌跡等も見ると多少の影響はありそうだとことを議事録の中に明記していただくということにいたします。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。議事の最初の営巢の判断をどうするかという修正案と絡んできますので。この修正案を見ると、3月期の判断は、きょうは19日ですからまだ3月での判断をするわけではありませんけれども、今のところは真ん中の状況になっているということでしょうか。またこの次のLの保全に関しての議論にも出てくるかと思いますが、現況の御説明はよろしいでしょうか。御疑問の点はございませんか。そうしましたら、これは何ったということにいたします。■■■■</p> <p>・済みません、確認だけですけれども、今、■■■■から、1月以降しばらくLでの飛行が少なくなっている状況から多少の影響があったのではないかとということで、この会議としてはそのように受けとめていけばよろしいのでしょうか。(事務局 早野)</p> <p>・そうですね。■■■■</p> <p>・■■■■から参考資料①の御紹介があったので、事業者からですけれども、18ページとかを見ていただきますと、2月の後半にな</p>

項目	主な意見と回答
<p>(2) 平成25年繁殖期初期の調査結果</p>	<p>って、逆にLの方でも飛翔行動が見られているという状況もあります。当然樹林伐採をしている時期は騒がしい状況がありますので、その時期は嫌われているというのは否めないと思っておりますので、一応そういうこともありますということで御報告させていただきます。(事務局 早野)</p> <p>・わかりました。 [REDACTED]</p> <p>・それでは、この御説明はこれで承ったということで、3番目になりますか。「調査地Lの保全対策」、1章から4章までございますが、御説明をお願いします。 [REDACTED]</p>
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・それでは、資料としましては会議資料③「調査地Lの保全対策」につきまして御説明させていただきます。 [REDACTED]</p> <p>・「会議資料③ 調査地Lの保全対策」の説明</p> <p>・ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、1章から4章までございますが、1章、2章はまとめて御意見を伺って、その後に3章の御意見、4章の御意見というように議論を進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。まず初めのL地における保全対策の検討内容と、営巣林の担保性のお話に関しては御意見はいかがでしょうか。 [REDACTED]</p> <p>・第2章ですけれども、営巣林の担保性ということで、まず立入防止柵の設置について、これは私の方でお願いして、今進めてもらっているということですのでけれども、機能補償道路は既にでき上がっているわけですね。この防止柵についてはほぼやれるということで判断していいのですか。 [REDACTED]</p> <p>・立入防止柵の構造も含めて [REDACTED] と話を詰めています。基本的にはやれる方向で考えています。ただ、具体的な話は、土地所有者の方と、例えば出入り口をどこにつくるかとかといった部分も含めて調整が必要ですので、時期的には今年度中にできればいいかなぐらいの感じで考えております。(事務局 早野)</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早く。 [REDACTED]</li> <li>・努力します。(事務局 早野)</li> <li>・お願いします。それと、保全樹林の指定ということで、何回言っても余り担保性がない指定ですので、ぜひ担保性のある指定に向けてるように、なお一層の努力をお願いしたいと思います。 [REDACTED]</li> <li>・図2-1に立入防止柵の断面図がありますけれども、これは2mぐらいの高さですか。 [REDACTED]</li> <li>・今考えておりますのは、1.8mのネットフェンスを樹林側に囲う形で設置しようと考えております。管理は、 [REDACTED] にありますので、 [REDACTED] に管理していただくという方向で考えています。(事務局 早野)</li> <li>・この機能補償道路というのは、最終的には [REDACTED] になるのですよね。 [REDACTED]</li> <li>・そうなります。(事務局 早野)</li> <li>・今はまだ国土交通省ですか。 [REDACTED]</li> <li>・工事中なので国土交通省の方で管理しております。(事務局 早野)</li> <li>・あと、これは反対側にまだ樹林が幾つか残っていますね。道路の反対側です。 [REDACTED]</li> <li>・営巣地側ではない方ですね。(事務局 早野)</li> <li>・そうです。あちらは樹林が残っているのが少ないのですけれども、できたらあちら側で樹林が残っているところも、不法投棄を防止す</li> </ul>

項目	主な意見と回答
(3) 調査地Lの保全対策	<p>るという意味でも、フェンスを設置していただければということで、これは希望としてお願いします。 [REDACTED]</p> <p>・水色の点々で囲まれている中については、基本的にできる限り設置する方向で検討しております。(事務局 早野)</p> <p>・これは、星印の営巣木がある側の片面の道路沿いということですね。 [REDACTED]</p> <p>・基本的にはそう考えていますが、反対側にも一部樹林等残る部分がありますので、そこについては設置が可能かどうかも含めて検討させていただきます。(事務局 早野)</p> <p>・ちなみに、機能補償道路ではないのですが、本体の道路のライン沿いは工事用の囲いができるようなやり方ですか、それともそのようなものは特に設置しないのでしょうか。本体の際は。 [REDACTED]</p> <p>・営巣林側と反対側のところですね。(事務局 森澤)</p> <p>・はい。 [REDACTED]</p> <p>・これは別に対策があるのです。前に決まっていますので。遮蔽パネル。 [REDACTED]</p> <p>・遮蔽パネルの構造になるわけですね。 [REDACTED]</p> <p>・樹林側は遮蔽パネルを一応やります。構造等については、また今後。(事務局 早野)</p> <p>・ほかには御意見はいかがですか。          そうしましたら、保存樹林の指定に関して、担保性のある内容への御努力というお話がありましたので、それをよろしく願いいたします。          では、2章まではそこまでといたしまして、3章、生息環境を保</p>



項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>全するための措置に関してはいかがでしょうか。ビオトープを設置するということと、そのビオトープを設置した上での地域協働の進め方に関して、前回は議論しておりますので、それを踏まえた上で御提案していただいています。■■■■■</p> <p>・この高速道路下のビオトープをやるということ、オオタカ保護対策のミティゲーションとしてやるということは大変重要なことだと思います。また在来種でやるということは大変いいことですが、ここだけではもったいないので、■■■がここからどうつないでいくかということも言ってもらいたいと思うのです。広がりを持たせる。ここだけではしょうがないので、直接これとは関係ないのですけれども、ぜひ■■■に言っていただいて、せっかくこれだけのことをやるわけですから、ビオトープの広がりを持たせてもらうといいのかなと思います。</p> <p>それと、3.3の地域協働の進め方、これが実は大変難しいというか重要で、言うのは簡単ですが、具体的にだれがリードをとるかというのが非常に重要で、それからだれを参加させるか、この辺もリードするところと内々でよく議論してスタートしないと、後々いろいろ問題が起こってくる可能性があるだろうという感じがいたします。ぜひその辺をうまくやってほしいと思います。■■■■■</p> <p>・今の■■■■■の最初のは、高架橋下のビオトープの整備を地域の緑の保全につなげていく、その辺のアクションといいますか、そういうことが可能であれば進めていただきたいという御注文ですが、いかがでしょうか。■■■■■</p> <p>・今、具体的に■■■とその辺に向けての調整はしていません。ただ、一部、例えば工業団地ができる部分とか、工業団地の開発は基本的に民間がやるのですけれども、そこについて圏央道側になるべく環境の配慮をしていただいたりということは、今、■■■と話をしています。そのほかには、どの程度何ができるかみたいところは、今後■■■の方に語りかけていきたいと思っております。(事務局 早野)</p> <p>・せっかく草本類と樹木を在来種でやるということで、野草も含めて進めると言うのは日本ではほとんどないのです。大変重要なこと</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>で、これほど苦勞してやるので、ここだけではもったいないので、          ■がそういった認識を持つように、いろいろな打ち合わせの場がある          でしょうから、話してもらって、ここを核としてビオトープネット          ワークをどうするのだということをちゃんと出してくれという          注文をつけるといいと思います。 ■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この会議の意見としてもお話ししていいということですので、一              応お話はさせていただきたいと思います。(事務局 早野)</li> <li>・よろしくをお願いします。 ■</li> <li>・あと、地域協働の進め方に関してはまさにまだこれからなのです              が、今年度秋ぐらいには何とか立ち上げていきたいと考えていま              す。メンバーとか、どういったグループにしていくかということに              ついては、またいろいろ御相談させていただきたいというか、一応              ある程度イメージしている人たちはいるのですけれども、そこにつ              いては今後検討させていただきたいと思っていますところ。(事              務局 早野)</li> <li>・この点については、前回、 ■からも御心配の発言がござい              ましたので、今後この委員会の中で御報告いただける部分が出てき              た際にはよろしくお願ひしたいと思います。ほかには。 ■</li> <li>・我々委員の意見を聞いてもらって、こういう形でビオトープ化の              実施計画(案)をつくっていただいたということは、今後のこうい              う道路の環境対策にとって重要だと思うのですけれども、問題は、              ここが将来にわたってきちんと実施されていくかということです。              そういう点では、実は ■の高架下のビオトープ化の問題が全              くとんざしてしまっていますよね。あそこの小さなところですら約              束されたことがちゃんと履行されていないということがあって、こ              れだけ大きなところが履行できるかどうか、私は非常に心配なので              す。特に ■のところについては、圏央道の保護対策ということ              が1つの大きなきっかけとなって、荒川上流河川事務所なども積極              的に保護対策を進めていってくれているということで、ここにつ              いては ■も関係していただいたのですけれども、 ■の堤防</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>保護と自然環境保全に関する確認書ということで、荒上の所長と保護団体を含めて、今後、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>の方をどうしていくかという確認書を取り交わしているわけです。これはこの圏央道のオオタカ保護対策が1つのきっかけになって、ここが大きな成果を上げているということが波及的にいい方向に行っているわけで、その中で、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>でビオトープをします。たしかこれについては、平成22年3月の第4回のときに、どういう形でビオトープ化するかということで、ビオトープの整備に当たっては<span style="background-color: black; color: black;">          </span>の助言のもとに実施するという事になっていまして、その後の平成23年1月26日の第5回の会議でも、今後の予定として実施していくということで約束されているわけですが、そのあたりが実際に今どうなっているのか、きちんと検証しないと、幾らいい絵ができて、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>ですら何もできていないということになったら、ここなんかもっと将来できるのかと、私個人としては非常に不安になるということです。今、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>の方がどうなっているか教えてくださいませんか。<span style="background-color: black; color: black;">          </span></p> <p><span style="background-color: black; color: black;">          </span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議論が終わった後に御報告の形で<span style="background-color: black; color: black;">          </span>の状況についてお話ししていただくことはできますか。今お話しされますか。<span style="background-color: black; color: black;">          </span></li> <li>・よろしければ、ここでお話しさせていただいても。</li> </ul> <p>今回の会議の資料を事前説明させていただくときに、あわせて、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>のビオトープを今後どうしていくかというところも、とりあえず入り口の部分ですけれども、お話しさせていただきました。22年3月に議論した後に実際に現地から採取して保全してある植物のビオトープへの復元といったことが実際になされていなかったもので、今回改めてそれをしっかりやっという事で各委員に御説明させていただきました。なので、当面は、まず保全してある植物を、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>のビオトープと、実は<span style="background-color: black; color: black;">          </span>で緑の再生地ということで行政の方で土地を取得している部分がありますので、そこで、今回は<span style="background-color: black; color: black;">          </span>に2割、再生地に8割ということで御提案させていただきましたので、そういう格好で植物を植えさせていただいた上で、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>のビオトープについては今後<span style="background-color: black; color: black;">          </span>とも御相談させていただきながら進めていきたいというのが今の状況です。(事務局 早野)</p>

項目	主な意見と回答
(3) 調査地Lの保全対策	<p>・■■■■の方、土砂はとって見たけれども、結局夏は乾燥してしまうわけですね。十分に湿地化できていないでしょう。■■■■</p> <p>・夏の田んぼに水が張ってある状況では潤っているのですが、冬の乾燥期については水がなくなってしまいます。それは以前の田んぼの時と基本的には一緒です。ただ、もともとあった植生とか保全している植物もその状況の中で育ってきたという部分があるので、どこまで手を入れるかというのはありますが、保全して、植栽した後はある程度自然に任せてもいいのかなと思っていた部分もあるのですが、そこは御相談させていただきたいと思えます。(事務局 早野)</p> <p>・高架橋の下の水が不足しがちな場所がどの程度緑化できるかということ、保全すべき貴重種がその空間に適応できるかどうかということ、実験的なことに手をつけたわけですが、その後、幾つかの事情できちんとフォローされていなかったのが、改めてきちんと進めていくというお話を私の方で伺っていますが、その際に、今お話があったように、周辺の水田の湛水の状況と絡んで地下水の上昇、下降がありますので、湛水中は水がわき出てくるけれども、用排水路をとめた冬場には乾田になりますので、水位が下がって、掘った場所で水が出てこない、乾いた状態になる。その中でどの程度植物が自立的に耐えられるかということは確認が必要だと思えますので、その辺は引き続いて確認をし、このL地周辺のビオトープ化へフィードバックしていただきたいという話をしております。■■■■</p> <p>・そういう点では非常におくれてますよね。直ちにやらなければいけないわけだから。NEXCO東日本にそういうことは言っているわけですから、そのあたりがどうなっているか。聞くところによると、どうもNEXCO東日本さんはこういうビオトープとかに余り熱心ではないということをお聞きしています。ほかの■■■■なんかは非常に積極的に、民間になったからこそ逆にビオトープとかこういう問題を積極的に事業者としてもやっていかなければいけないということで、民間の保護団体にまで協力を求めてやっていくと</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>いうことを聞いていますし、■■■■なんかも今積極的にビオトープ整備なども入れながらやっていこうということを聞いています。ここはやれるフィールドができるわけですので、その点では事業者としてももうちょっと積極的にやってもらいたいと思います。■■■■</p> <p>・今、■■■■から御指摘があったように、■■■■の方については供用している部分の高架下という位置づけはありますが、基本的にオオタカ会議で事務局をしている大宮国道がかかわっている部分があるので、そこは今回しっかりフォローアップしていかなければいけないという意味で御提示させていただきましたので、NEXTCOさんとも相談しながら、まずフォローアップをさせていただきます。その結果も含めて、今回のL地の高架下のビオトープに少しでも生かしたりすることができればいいかなと考えています。 (事務局 早野)</p> <p>・質問したいのですけれども、高架下で、あそこの一角にビオトープのあれをするということをお話ししていて、そこにもう一回移植してみようということのようですね。あそこは水は来ますか。私が見た範囲では、あそこに水がたまっただけを見たことがないのです。あそこはもともとは田んぼの周辺でしたから湿地でした。そこで採取された湿地性のオグルマとかをあのようにすっかり水が来ないような状態に戻しても意味がないのではないかという感じがするのです。だから、あそこは、水が来て以前のような形で湿地性の植物がそこで自生できるような道筋ができているならいいだろうけれども、その辺はどうなのかと思っているのです。■■■■</p> <p>・以前御報告している資料の中では、7月6日時点の状況で湿地化しているところを御報告させていただきましたが、ふだんどういふ状況であるかは埼玉生協の方でお話しできますか。(事務局 早野)</p> <p>・やはり周りの田んぼと連動しているみたいですね。春とか夏場にかけては割と湿地の状態になっているところを調査に行くたびに確認はしているのですけれども、一応そういう状態にはなっ</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>ています。でも、全く乾いてしまっている時期があって、それが今の時期だったりするのですけれども、湿地になったりならなかったりという状態にはあります。(財) 埼玉県生態系保護協会 湯川)</p> <p>・私があそこに水がたまっているのを見たことがないというのは観察不足かもしれないですけれども、いずれにしろ湿性植物があったころから大きく環境が変わってしまっていると思うのです。たまたま水が入ってくるのです。その辺のことを考慮した上で今やろうとしていることをやった方がいいのではないかと思います。■■■■</p> <p>・植えた後のモニタリング観察も引き続きやりながら、今回、■■■■のお話もあったのですけれども、事業者としても、確保したものをここに試験と取り組みを含めてやった場合にうまくいかない可能性もあるので、少し離れた部分になりますけれども、■■■■の方でもこのものを同時に育てていくという方法をとっていきたいと考えています。(事務局 早野)</p> <p>・単に希少植物を植え戻すのではなくて、高架下の敷地をなるべく広くビオトープ化するわけだから、できるだけもとに近い環境になるようにして戻すわけですよ。田んぼで冬に乾燥化すると、ああいう可変地での乾燥化の度合いとは全く違うと思うのです。恐らく乾燥化が甚だしくなると思いますので、そのときにどういう形で手当てをするか、そういうことも含めてやらないとビオトープにならないですよ。■■■■</p> <p>・この場合、そもそももとのビオトープということが成り立つかどうか、それを検証していかなければいけないのです。というのは、高架橋ができることによって光条件が決定的に違うということと、直下は雨が降りかかりませんから、そういう意味で乾燥化傾向にある。これはいずれの場所でもそうで、■■■■がやられている■■■■のビオトープにしても、実際にやってからかなりの期間試行錯誤を現在も繰り返しているわけです。ですから、最初にどんなものができるというのはここに絵がかかれていますけれども、このとおりになるかどうかはある意味で不明な部分を含んでいるとお考えいただいて、その都度、何がベストになるかということ</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>チェックしながら進めていかざるを得ないのだろうと思います。その辺を■■■■も御承知置きいただければと思います。■■■■</p> <p>・このビオトープも、地形のつくり方とか、土もももとの田んぼの客土とか表土、それから少し違う土を幾つか分けて植えたりもしていますので、そういうところでも、どういった環境がいいのかみたいなのところもしっかり見ながらやっていきたいと思っています。(事務局 早野)</p> <p>・以前にもお話ししましたがけれども、道路工事に伴って決定的にその場所の土壌条件を変えてしまうのです。それをどう担保できるかということは、これから工夫していただく部分にもつながっていくと思いますけれども、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>関連して、■■■■の、ヨシで水面が覆われてしまうという御心配は。■■■■</p> <p>・大変に強い植物なので、条件がそろったらすぐに広くびしっと埋めてしまうと思うので、それを適宜間引いていくとか、するということが必要でしょうという話です。■■■■</p> <p>・5ページの④の調整池のビオトープ化のところでは、真ん中の部分は底がコンクリートに覆われていて、そういう意味で普通は植物が育たない部分になるということですね。■■■■</p> <p>・そうですね。本来の調整池機能になりますので。(事務局 森澤)</p> <p>・サイドの部分に水色でかかっている部分は常時湛水される想定ですか。■■■■</p> <p>・基本は常時湛水にしてもらいたいというつもりで、機能を確保したいと思っています。基本的にコンクリートの真ん中の面より上が調整池として必要な容量を確保している部分という意味で、両側はそれ以上に掘り下げているという構造になっています。(事務局 早野)</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・両サイドの土壌を入れる部分は緑色になっていますけれども、緑色の下の部分は当然コンクリートで固められているということですよ。■■■■</p> <p>・はい、そうです。(事務局 早野)</p> <p>・それと、そこに湿性の、言ってみればちょっと規模の大きい植木鉢みたいなもの、プランターみたいなものですが、そこにヨシが入り込んでくるだろうと。そこは恐らくすぐに覆われてしまいますよね。■■■■</p> <p>・先ほど■■■■からお話があったと思うのですがけれども、実際にやりながら、状況を見ながら対応していくみたいな格好になるのかなと思っています。(事務局 早野)</p> <p>・そういう少し長いおつき合いをしなくてはいけないという御覚悟を持っていただきたいと思います。ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>地域協働の進め方のところはよろしいですか。それも地元の方との御調整がこれからありますので、その結果を受けてまた御報告していただければいいと思いますが、よろしいですか。</p> <p>そうしましたら、第4章の調査地Lの施工時の配慮に関して御意見をいただきたいと思います。この表は以前見せていただいて、その場で御意見を伺って、それに基づいて修正されたと理解しています。あとはF地の人工代替巢の設置状況ですか。No.4に幼鳥が来たという御報告ですが。あとは、先ほどもちょっと話がありましたけれども、遮蔽対策と工事の実施工程になりますか。何か御疑問の点はございますか。——いかがでしょうか。</p> <p>きのうもそうでしたが、最近は気候が過激なので風が強い日も多々ありますが、その辺の影響が懸念されますね。■■■■</p> <p>・大丈夫ですか。■■■■</p> <p>・現場の方は大丈夫でしたか。風の影響みたいな話は。——特に大丈夫だそうです。ちゃんとしっかりしたものをつくっているということで、大丈夫だそうです。(事務局 早野)</p>



項目	主な意見と回答
(3) 調査地Lの保全対策	<p>・それは幸いです。樹林自体が倒木したり枝が落ちたりということがありがちですので、その辺、どういう状況になるかわかりませんが、風の強かった後のチェックを細かくしていただければと思います。</p> <p>14ページの繁殖期にかかる工事工程で、やむを得ずやらざるを得ない土工等がございますが、この辺はよろしいですか。</p> <p>特になければ、一番最後の17、18ページの今の段階での判断については、先ほど最初のころに関連して話が出ましたけれども、赤の点線で囲まれた今現在の判断の御提案であると。</p> <p>この後状況が変化するはずですが、その辺についてはどのように判断を確定していらっしゃる予定ですか。 [REDACTED]</p> <p>・それについては事務局としての考え方がありますので、お話しさせていただきます。(事務局 早野)</p> <p>・では、事務局としての考え方をお話しさせていただきます。</p> <p>今回、現在まで繁殖場所や兆候の確認が明確にならない状況でございます。こういった状況が続いた場合、遅くても連休明けまでには繁殖する確率が高いと考えておりますので、そういったことを踏まえまして、調査結果を踏まえた次回会議を5月中旬にでも開催させていただければと考えております。ただ、会議開催の前に調査地Lで繁殖兆候がなくて、調査地Fで顕著な繁殖兆候が確認された場合につきましては、その時点で各委員の皆様個別に工事実施の判断につきまして御意見を伺わせていただきたいと思います。その結果をもちまして最終的に座長に御判断いただいた上で、委員の皆様御報告させていただければということで、それを踏まえて工事を進めさせていただきたいと考えております。ただ、会議につきましては、そういった状況も含めて報告という形をとらせていただきたいと思います。ということで、予定どおり開催させていただければと考えております。(事務局 森澤)</p> <p>・かいつまんで説明させていただきますと、判断がつかない状況、どちらにも繁殖兆候がはっきりあられないでずっと続いた場合に、[REDACTED]にもアドバイスをいただいて、大体4月中に確定すると思いますと言われたのですが、遅くとも5月の連休明け</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>らいには確定する確率が高いと思っております、会議を5月中ごろにセットさせていただいた上で、今後しっかり調査をして、もし確実な兆候があらわれるようだったら個別に説明させていただけないかという提案です。(事務局 早野)</p> <p>・それは5月の際にとということですか。 [REDACTED]</p> <p>・5月の前、4月中に、どういう状況になるかがまだ見えないので。ただ、もし4月末に兆候があらわれたとしても、工事も連休中とかはお休みになってしまって、そこから始めるとなると結局5月中ごろから始めることとなりますので、慌ててもしょうがない部分はあるのですけれども、もし会議前に兆候があらわれたら御報告させていただいて、ある程度の御判断を仰ぐことも可能かどうかというのを御審議いただければと思います。(事務局 早野)</p> <p>・今後の段取りで、事務局としては今お話があったような進め方をお考えですが、委員の皆様方の御意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。段取りとしては今のような考え方で問題はございませんか。 [REDACTED]</p> <p>・産卵が4月末になるようだと、卵を3つ以上は産まなくなります。ということは、普通だと4月の頭ぐらいから10日ぐらいまでの間に産み始めるので、その辺が1つの判断の目安になるかと思えます。もう一つ、その前に巣材をどのぐらい一生懸命集めるか。総合計だと200以上は同じ巣に通いますから、それがどこに行くかというあたりが今ごろから10日間ぐらいの間に決まっていくのではないかと想像しますが、ことしは寒さが長かったので、鳥の方の体がどのぐらいの時間たてば正常になっていくのかということが私はわかりませんから、その点から言うと、4月に卵を産み始めるのが見えたら、その巣が使われるということだと思います。それがLということはないでしょうね。あったらうれしいけれども。 [REDACTED]</p> <p>・そこは答えにくいところでございますけれども、状況を見るしかないかなと思っております。(事務局 早野)</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・オオタカの一般的な繁殖活動として、今、[REDACTED]からお話があったような産卵に至る時期がございますので、事務局から御提案がありましたように、4月中に何らかの意見を我々に求められる場面が出てくる確率が高いですね。</p> <p>段取りとしては、個別に個々の委員に御意見を伺って、それを踏まえた上で責任を持って取りまとめるということによろしいでしょうか。何か肩の荷が重いのですけれども。[REDACTED]</p> <p>・いずれにしても連休明けにはやるわけですね。[REDACTED]</p> <p>・はい。(事務局 早野)</p> <p>・報告を含めてですね。</p> <p>では、事務局の御提案のような段取りで今後進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ほかには何かございますか。[REDACTED]</p> <p>・これが順調にいったとすると、管理が東日本に移るのはいつごろになるのですか。[REDACTED]</p> <p>・世の中への公表の開通時期としては26年度以降と言っているのですけれども、目標としては26年度末ですから、27年3月に圏央道の今事業をしているところを開通させようという目標で国とNEXCOさんで事業をしています。ですので、基本的には27年3月以降という格好になると思います。(事務局 早野)</p> <p>・そこもスムーズにいかないと、せっかくこういういい議論をしておいて、NEXCOさんに行っとうまくつながっていくかどうか、大変心配なところがあります。[REDACTED]</p> <p>・委員でNEXCOの所長も来ていただいておりますし。(事務局 早野)</p> <p>・決意をちょっと聞きたいですね。[REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・協働で事業をやっていますので、国交省と打ち合わせをしながら、これからの計画についての趣旨を踏まえ、また管理の方とも相談しながら、いい方向になったらいいなと思っています。(さいたま工事事務所長 本間)</p> <p>・実際、ビオトープの整備の仕方とか、どういうメニューかというのは、事務レベルでもNEXCOさんとしっかり調整させていただいていますので、基本的に夢物語を提出しているわけではありません。ちゃんと調整しているものを出していますので、そこは将来管理者ともある程度の調整ができていると思っていただいて結構です。(事務局 早野)</p> <p>・しよせん所長さんが自らやるわけではないので、担当者がおやりになるのでしょうかから、担当者の教育を事前にちゃんとしてもらうということが重要だと思います。それがうまくいかないと結果として変な格好になりますので、ぜひその辺の教育をお願いしたいと思います。■■■■■</p> <p>・これまでもこの会議の中でいろいろ議論させていただいたところを、でき上がった部分にある程度反映している部分もあると思うのですが、そういった意味でNEXCOさんとはちゃんと情報共有させていただいていますので、これについてもしっかり物ができるように努力していきたいと思っています。(事務局 早野)</p> <p>・■■■■■もそうですけれども、ビオトープ整備等に関しては事業者さんの誇れる、対外的に評価の対象になる部分になりますので、そういう意味でもきちんとしたものができるようにしていきたいと思いますが、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、会議資料③の内容に関しては一通り議論したということにいたします。何か補足的なことはございますか。■■■■■</p> <p>・1つだけ。ことしの資料を見せていただいている、天気を書いていないのです。天候と風とか、そのことがないので、例えば3月13日に1回も出てこないというのだけれども、理由が何かは私たち</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>がまた別の資料を探さないと出てこないのでは、それは書いておいてください。 [REDACTED]</p> <p>・今後会議に提出される際に、その辺のフォローをして資料を出していただきたいと思います。 [REDACTED]</p> <p>・わかりました。(事務局 早野)</p> <p>・それと、一回調査地Aから見て、調査地Aがどうなっているかというのわからないから、次回あたりは午前中に見学会を。 [REDACTED]</p> <p>・お忙しい委員の方々の調整は難しいかもしれませんが。 [REDACTED]</p> <p>・一応やる方向で調整させていただきます。なるべく皆さんが参加できるようにセットしたいと思いますけれども、そこは参加できる方が多い日を選んでやらせていただきたいと思います。(事務局 早野)</p> <p>・よろしく御調整ください。その他ございますか。 [REDACTED]</p> <p>・補足の資料を御説明させていただきたいと思います。  参考資料②でつけさせていただいております上尾道路 ([REDACTED]) の報告でございます。一番最後につけているA4判でございますが、こちらにつきましては前回会議で報告内容を確認させていただいたものでございますが、調査地Gの上尾道路 ([REDACTED]) の道路整備によるオオタカへの影響及び保護対策についてということで、回答文ということで、こちらにつきましては、昨年12月13日に [REDACTED] の各委員に報告ということで送付させていただいております。  一応報告でございます。以上でございます。(事務局 早野)</p>

項目	主な意見と回答
<p>(3) 調査地Lの保全対策</p>	<p>・ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事その他が全部終わりましたので、事務局にお返しいたします。 [REDACTED]</p> <p>・長時間どうもありがとうございました。</p> <p>本日御提案させていただいた内容でございますが、調査地Lにおける保全対策につきましては、ミティゲーションにつきましては、本日の御意見等を踏まえて今後ワーキンググループを設置しまして、実施計画(案)を基本に検討して、オオタカ会議に適宜報告させていただきたいということで進めさせていただきます。</p> <p>それと、調査地Lの施工時の配慮につきましては、引き続き繁殖期の調査を進めさせていただきまして、その結果を報告させていただきたいというところで、次回会議におきまして、この工事の実施につきまして御判断いただければと考えております。</p> <p>なお、次回開催前に繁殖兆候が確認できたら、個別に御相談させていただきまして、最終的には [REDACTED] に判断いただいて、それを報告させていただくという形で進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは、次回会議の開催につきましては、連休明け、5月中旬ごろということで予定させていただきますので、近日中に日程調整をさせていただきたいと思ひます。それと、先ほど御意見がありました調査地を確認したいということがあります。そちらも含めて調整させていただければと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。(事務局 森澤)</p>
<p>閉会</p>	<p>・では、長時間にわたる御議論をいただきまして、どうもありがとうございました。以上をもちまして第13回埼玉圏央道オオタカ等保護対策検討会議を終了させていただきたいと思ひます。どうもありがとうございました。(事務局 森澤)</p>